

科目名	作業療法研究法Ⅱ						
担当講師	岡崎謙治 西城学 細川康紀 高橋正基 田中弘美 竹田敦子 細越友貴						
実務経験の概要	岡崎 謙治 : 作業療法士。医療施設、精神領域施設において実務経験を有する。 細川 康紀 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 西城 学 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 高橋 正基 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 田中 弘美 : 作業療法士。医療施設、発達領域施設において実務経験を有する。 竹田 敦子 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 細越 友貴 : 作業療法士。医療施設、精神領域施設において実務経験を有する。						
履修年次	4	単位数	1	時間数	30	開講時期	前期
授業形態	講義 演習 オムニバス						

<p>授業概要</p> <p>作業療法研究法Ⅰの内容を踏まえ、課題解決のための問題点の抽出と研究計画、実施、発表の一連の過程を実施し、将来的な作業療法研究活動の基盤を養う。</p>

<p>学修到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査研究、実験研究などの研究を指導を受けながら計画・実施できる 2. 実施した研究の成果を発表・文章化できる 3. 主体的に問題解決へ向けた取り組みができる
--

授 業 計 画		
第1回	オリエンテーション	岡崎 謙治 他
第2回	研究計画書作成（1）	岡崎 謙治 他
第3回	研究計画書作成（2）	岡崎 謙治 他
第4回	研究計画書作成（3）	岡崎 謙治 他
第5回	研究計画書作成（4）	岡崎 謙治 他
第6回	研究データ収集・研究データ分析（1）	岡崎 謙治 他
第7回	研究データ収集・研究データ分析（2）	岡崎 謙治 他
第8回	研究データ収集・研究データ分析（3）	岡崎 謙治 他
第9回	研究データ収集・研究データ分析（4）	岡崎 謙治 他
第10回	研究データ収集・研究データ分析（5）	岡崎 謙治 他
第11回	研究データ収集・研究データ分析（6）	岡崎 謙治 他
第12回	研究データ収集・研究データ分析（7）	岡崎 謙治 他
第13回	発表準備・研究論文作成（1）	岡崎 謙治 他
第14回	発表準備・研究論文作成（2）	岡崎 謙治 他
第15回	発表準備・研究論文作成（3）	岡崎 謙治 他
第16回	発表準備・研究論文作成（4）	岡崎 謙治 他
第17回	発表準備・研究論文作成（5）	岡崎 謙治 他
第18回	発表準備・研究論文作成（6）	岡崎 謙治 他
第19回	発表準備・研究論文作成（7）	岡崎 謙治 他
第20回	研究発表（1）	岡崎 謙治 他
第21回	研究発表（2）	岡崎 謙治 他
第22回	研究発表（3）	岡崎 謙治 他

評価方法

研究発表（50％） 研究論文（50％）

教科書

資料を準備する。

参考図書・文献

講義の際に紹介する

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

自分自身での課題を明確にし、計画的に取り組むようにしてください。

科目名	作業療法管理学Ⅱ						
担当講師	西城学 高橋正基 田中弘美 細越友貴						
実務経験の概要	西城学 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 高橋正基 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 田中弘美 : 作業療法士。医療施設、発達領域施設において実務経験を有する。 細越友貴 : 作業療法士。医療施設、精神領域施設において実務経験を有する。						
履修年次	4	単位数	1	時間数	30	開講時期	前後期
授業形態	講義 オムニバス						

授業概要 作業療法の職場管理において求められる臨床教育の基本について、養成教育の歴史・臨床実習教育・国家試験制度・生涯学習制度の観点から、後進の育成に関する基本について学ぶ
--

学修到達目標 1. 作業療法士養成教育の歴史と内容について説明できる 2. 作業療法士国家試験の出題基準について説明できる 3. 作業療法参加型臨床実習における理論背景を説明できる 4. 生涯学習制度について説明できる
--

授 業 計 画		
第1回	養成教育の歴史と内容（1）	田中 弘美
第2回	養成教育の歴史と内容（2）	田中 弘美
第3回	作業療法参加型臨床実習の概要（1）	西城学
第4回	作業療法参加型臨床実習の概要（2）	西城学
第5回	臨床教育の方法（1）	西城学
第6回	臨床教育の方法（2）	西城学
第7回	臨床教育の方法（3）	西城学
第8回	国家試験出題基準（1）	高橋 正基
第9回	国家試験出題基準（2）	高橋 正基
第10回	国家試験出題基準（3）	高橋 正基
第11回	生涯学習制度（1）	細越 友貴
第12回	生涯学習制度（2）	細越 友貴
第13回	生涯学習制度（3）	細越 友貴
第14回	生涯学習制度（4）	細越 友貴
第15回	生涯学習制度（5）	細越 友貴

評価方法 提出課題 80% 取り組み姿勢 20%

教科書 標準作業療法学 作業療法概論 第3版

参考図書・文献

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

適時、講義を受けるにあたっての準備課題を課すので、確実に遂行し準備してください。

科目名	総合実習						
担当講師	西城学 細川康紀 岡崎謙治 高橋正基 田中弘美 竹田敦子 細越友貴						
実務経験の概要	西城 学 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 細川 康紀 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 岡崎 謙治 : 作業療法士。医療施設、精神領域施設において実務経験を有する。 高橋 正基 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 田中 弘美 : 作業療法士。医療施設、発達領域施設において実務経験を有する。 竹田 敦子 : 作業療法士。医療施設、介護保険領域施設において実務経験を有する。 細越 友貴 : 作業療法士。医療施設、精神領域施設において実務経験を有する。						
履修年次	4	単位数	16	時間数	720	開講時期	前後期
授業形態	実習						

授業概要

作業療法参加型臨床実習の形態をとり、見学・模倣・実施のプロセスで進めていきます。臨床教育者のもと作業療法場面を通して臨床技能の習得を目的としています。また、その中で臨床教育者からの説明やディスカッションを通して臨床思考過程の理解を深めることも目的としています。

学修到達目標

1. 臨床教育者の指導・助言のもと作業療法（臨床技能）を実施することができる。
2. 臨床教育者からの説明（臨床思考過程）を受け、その情報の意味を関連付けるとともに自身の考えを述べることができる。
3. 臨床教育者からの指導を受けながらリハビリテーションチームの一員としての行動をとることができる。
4. 実習を通して、自己の学習課題に気付くのみならず、改善するための行動をとることができる。
5. 実習を通して得られた情報をもとに整理し、述べるることができる。

授業計画

実習期間

総合実習Ⅰ：令和5年5月8日～令和5年6月30日

総合実習Ⅱ：令和5年5月26日～令和5年9月21日

実習施設

医療提供施設

実習内容

1. 臨床技能（情報収集、面接、観察、検査測定、治療、再評価）場面の見学、模倣、実施
2. 臨床教育者から説明を受け、情報の意味や関連性をまとめるとともに自身の考えを述べる
3. 臨床教育者からの指導を受けながらリハビリテーションチームの一員としての行動をとる
4. 日々の自己の取り組みを振り返り、修正する

客観的臨床能力試験（OSCE）

実習前後に客観的臨床能力試験（OSCE）を実施する

実習後セミナー

実習後に症例報告書を作成し、発表を行う

評価方法

各期の実習は、実習地評定（30％）、セミナー評定（20％）、記録物（30％）、フィードバック評定（20％）を踏まえて総合評価を行います。

また、実習前後に客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、各期の実習評価と客観的臨床能力試験の評価結果を踏まえて最終的に総合評価を行います。

教科書

なし（配布資料あり）

参考図書・文献

なし

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

これまでの実習で見つかった課題への取り組みと、臨床に必要な最低限の知識、技術の復習を行い臨むこと。